

# 高校生のための

# オープンクラス (授業公開)



平成 **30** 年 **7** 月 **13** 日 (金) ~  
**7** 月 **26** 日 (木)

場所：三重県立看護大学  
対象：高校2、3年生

オープンクラス（授業公開）とは、高校生の皆さんに大学の授業を公開し、本学学生と一緒に90分の授業を受講していただくものです。高校生を対象とした模擬授業や授業見学ではありません。

オープンキャンパスではわからない普段の大学の雰囲気や大学での学びを知ることで、大学で看護を学ぶとはどういうことなのかを体感でき、自分に合っているかを見つめ直すことができます。

「答えが用意されていることが多い」高校までの授業とは違い、自分で課題をみつけ主体的に学ぶ大学の講義はどれも、内容だけでなく、授業の進められ方などいろいろな面で高校生の皆さんにとっては難易度の高いものだと思います。しかし、自分の目で確かめることで、新たな気づきがたくさんあることでしょう。この機会に、自分の将来について考えてみませんか。

## 受講方法

受講して感じたことや気づいたことを聞かせてね！



オリエンテーション  
15分



授業  
90分



振り返りシート記入  
フリートーク 30分

- \* 受講前にオリエンテーションを行いますので、授業開始の20分前までに講義棟3階演習室に集合してください。
- \* 受講料は無料です。

# 時間割

日付	学年	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目
		9:00 ~ 10:30	10:40 ~ 12:10	13:00 ~ 14:30	14:40 ~ 16:10	16:20 ~ 17:50
7/13 (金)	1 年次		英語講読 I ※	英語講読 I ※		健康科学
	2 年次	基礎看護方法 III	医療と文化	※2 限目と3 限目は同じ	内容の授業です。	
7/16 (月)	1 年次		現代社会の社会学	コミュニケーション論※	コミュニケーション論※	形態機能学 III
	2 年次		成人看護学概論	※3 限目と4 限目は同じ	内容の授業です。	
	3 年次					多民族社会論
7/17 (火)	1 年次	看護学原論	心理学			
	2 年次				英語講読 III	
7/18 (水)	授業公開はありません					
7/19 (木)	2 年次		母性看護学概論			
7/20 (金)	1 年次		英語講読 I ※	英語講読 I ※		健康科学
	2 年次	基礎看護方法 III	医療と文化	※2 限目と3 限目は同じ	内容の授業です。	
7/23 (月)	1 年次		現代社会の社会学	コミュニケーション論※	コミュニケーション論※	形態機能学 III
	2 年次		成人看護学概論	※3 限目と4 限目は同じ	内容の授業です。	
	3 年次					多民族社会論
7/24 (火)	1 年次	看護学原論	心理学			
	2 年次				英語講読 III	
7/25 (水)	授業公開はありません					
7/26 (木)	2 年次		母性看護学概論	基礎看護方法 IV	基礎看護方法 IV	基礎看護方法 IV

- 教養・基礎科目・・・人として必要な〈高い倫理観〉および〈幅広い教養と豊かな人間性〉を育成する科目
- 専門支持科目・・・幅広い分野において、人々の保健・医療・福祉について学習し、〈看護専門職者としての基礎的な能力〉および〈総合的看護実践能力〉を育成する科目
- 専門科目・・・看護専門職として中核となる能力として、〈看護専門職者としての基礎的な能力〉、〈総合的看護実践能力〉、〈地域に貢献する能力〉、〈国際化社会に対応する能力〉を育成する科目

**教養・基礎科目**、**専門支持科目**から **1** 科目、**専門科目**から **1** 科目の 合わせて **2** 科目の受講が可能です。**例年、専門科目に希望が集中しますので第1希望に添えない場合がございます。必ず第3希望までお選びください。**

大学1年生は、主に教養・基礎科目や専門支持科目を履修し、幅広い知識を身に付けます。これらは、専門科目を学ぶ上で基盤となる大切な科目です。看護の専門科目に限らず、いろいろな授業を受けてみて、大学での学びの奥深さを感じてみませんか？



**英語講読Ⅰ(英語と文化) 担当教員:准教授/林 姿穂****(教養・基礎科目) 必修 1年次前期**

1. 英語の語彙力の増進を目指すとともに、正確に英文を読んで訳せる力を身に付ける。
2. 異文化の人の目を通して見た我々の日本文化とはどのようなものかを読み解く。
3. 英語圏の人々の思考や話の論理展開を理解する。

**7/13 (金)、7/20 (金) 2限目 10:40～12:10**  
**3限目 13:00～14:30**

**健康科学 担当教員:教授/大西 範和****(教養・基礎科目) 必修 1年次前期**

健康は、人生をよりよく生きるための財産である。感染症などからその健康を守ることが医療の大きな役割であることは今も昔も変わらない。しかし、現代では社会の複雑化、運動不足や栄養の偏りなどから自分で作ってしまう病気(生活習慣病)が増えている。習慣的な運動はその良薬であるため、本科目では運動についての生理的知識や活用法を学び、自分の健康づくりや看護職者としての幅を広げること役立つ。

**7/13 (金)、7/20 (金) 5限目 16:20～17:50**

**基礎看護方法Ⅲ(看護過程) 担当教員:講師/灘波 浩子****(専門科目・実践基盤看護学) 必修 2年次前期**

看護過程の展開を通して、患者を生理・心理・社会面から包括的に理解し、個別性に合わせた看護を導き出すための思考力を養う。

**7/13 (金)、7/20 (金) 1限目 9:00～10:30**

**医療と文化 担当教員:教授/浦野 茂****(教養・基礎科目) 選択 2年次前期**

この授業では、家族や性差、誕生や病気、死といった事象を主題としながら、時代や地域、社会の異なりに応じてこうした事象がとる多様なあり方について学ぶ。こうした作業を通じて、これらの事象に対する私たちの見方そのものを反省的に捉え返していくことを目標としている。

**7/13 (金)、7/20 (金) 2限目 10:40～12:10**

**現代社会の社会学 担当教員:教授/浦野 茂****(教養・基礎科目) 選択 1年次前期**

すでに私たちは社会のなかで数多くの他者とともに生きており、さまざまな経験をもっています。社会学とは、こうした私たちの経験の諸相に注目し、またそれらのなかに私たちが他者と共に生きていることから由来している帰結を見出していく知的作業のことです。この授業ではとりわけ健康や医療を中心にこのような作業を行いながら、私たち自身の経験をより広い視野から捉え返してみたいと考えている。

**7/16 (月)、7/23 (月) 2限目 10:40～12:10**

**コミュニケーション論 担当教員:教授/小池 敦****(教養・基礎科目) 必修 1年次前期**

コミュニケーションは社会生活を営む私たちにとって必要不可欠であり、特に、医療現場における患者―看護師関係では、コミュニケーションの重要性が指摘できる。この授業では、文化としての意味や自己概念の形成の側面、いくつかの視点からのモデル化、言語的・非言語的コミュニケーションの特徴など、コミュニケーションのさまざまな側面について理解を深めるとともに、コミュニケーションの大切さについて再確認を促す。

**7/16 (月)、7/23 (月) 3限目 13:00～14:30**  
**4限目 14:40～16:10**

**形態機能学Ⅲ(植物機能生理学) 担当教員:教授/大西 範和****(専門支持科目) 必修 1年次前期**

ヒトの生体機能を追求する学問である生理学のうち、呼吸・循環などの恒常性維持に関わる植物機能について学ぶ。新たな個体の誕生から、発達、生命の維持という各ステージで、遺伝情報の転写と翻訳などの分子・細胞レベルの現象、組織・臓器レベルの機能に触れ、さらには個体レベルにおける機能の統合について学ぶ。

**7/16 (月)、7/23 (月) 5限目 16:20～17:50**

**成人看護学概論 担当教員:教授/玉田 章****(専門科目・生涯看護学) 必修 2年次前期**

成人期にある人を成長発達・生活環境と健康について多面的な視点から理解し、成人期の健康課題の特徴および様々な健康レベルにある成人(個人・家族・集団)に対する看護の概念について学習する。

**7/16 (月)、7/23 (月) 2限目 10:40～12:10**

**多民族社会論 担当教員:教授/浦野 茂****(教養・基礎科目) 選択 3年次前期**

今日の日本では、国外から多くの人びとがさまざまな形で移動してやって来ている。これにともない、言語や文化、身体などにおいて異なる人びとの間で遭遇と対立、抑圧の機会も数多く存在しており、だからこそ共存の可能性を模索することは私たちにとってきわめて重要な現実的課題となっている。この課題を念頭におきながら、この授業ではさまざまな人びとの差異が織りなしてきた人間の関係の歴史と現状、問題を学ぶ。

**7/16 (月)、7/23 (月) 5限目 16:20～17:50**

**看護学原論 担当教員:教授/白石 葉子****(専門科目・実践基盤看護学) 必修 1年次前期**

看護・看護学への関心を高め、看護や看護者の役割について自らの考えを持つための基礎を築き、看護者としての能力を発展させることの意義について理解できる。

**7/17 (火)、7/24 (火) 1限目 9:00～10:30**

**心理学 担当教員:教授/小池 敦****(教養・基礎科目) 必修 1年次前期**

心理学は心と行動の諸側面を研究対象としている学問である。この授業では、心理学研究の成果に基づいて、①個体としての人間の心的機能、②心と身体の関係、さらに③他者との関わりとの側面という3つの視点から、人間への理解を深める。その上で、④看護を中心とする医療・福祉の分野にとって求められる人間理解と心理的側面への援助方法について学ぶ。

**7/17 (火)、7/24 (火) 2限目 10:40～12:10**

**英語講読Ⅲ(看護専門英語) 担当教員:准教授/林 姿穂****(教養・基礎科目) 選択 2年次前期**

1. 看護、医療に関する基本的語彙を習得する。
2. 看護学専門英語論文を読んで理解する力を身につける。

**7/17 (火)、7/24 (火) 4限目 14:40～16:10**

**母性看護学概論 担当教員:教授/永見 桂子****(専門科目・生涯看護学) 必修 2年次前期**

女性の生涯を通じた母性の健康と次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念理解に基づき、母性看護の対象への理解を深める。また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状を理解し、母性看護の課題や役割について考える。

**7/19 (木)、7/26 (木) 2限目 10:40～12:10**

**基礎看護方法Ⅳ 担当教員:講師/灘波 浩子****(専門科目・実践基盤看護学) 必修 2年次前期**

診察や検査・治療を受ける対象者に対する看護援助について、科学的根拠に基づき安全・安楽・正確に実施する技術を、主体的な学習により修得する。

**7/26 (木) 3限目 13:00～14:30**  
**4限目 14:40～16:10**  
**5限目 16:20～17:50**

※3～5限目はそれぞれ授業内容が異なります。

※4限目と5限目は実習室での授業になります。

# 申し込み方法

QRコードを読み取り、申し込みフォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

- \* 各授業の定員は **10名** です。
- \* **先着順** で受付をし、定員になり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

(申し込みフォームURL) <http://www.mcn.ac.jp/questionnaire/905>

お名前  
高校名、学年・組  
メールアドレス  
住所、電話番号  
受講日と受講科目  
(第1希望・第2希望・第3希望)



## 6月19日(火) 17:00 申し込み開始

### 締切: 7月5日(木)

### お申し込みにあたっての注意事項

- ※お電話でのお申し込みは受付いたしかねます。申し込みフォームからお申し込みください。
- ※お申し込みをいただいた翌日以降に、ご登録いただいたメールアドレスあてに参加決定通知を送信いたしますので、[@mcn.ac.jp](mailto:@mcn.ac.jp)からのメールを受信できるよう受信設定をお願いします。お申し込みから2、3日経っても本学からのメールが届かない場合はお電話にてお問い合わせください。
- ※申し込み状況については、本学ホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。ホームページ上で空きがある場合でも、定員により受講いただけない場合がございます。

## 交通案内

(公共交通機関)

近鉄・JR「津駅」下車

津駅西口より路線バスをご利用ください。

三重交通 運賃 270円 (所要時間 約15分)

夢が丘団地行き「看護大学前」下車 徒歩1分

(自転車)

所定の自転車置き場に駐輪してください。

(自家用車での送迎)

保護者の方に送迎してもらう場合は、長時間周辺道路に駐車することのないようにしてください。また、保護者の方にお待ちいただくための待ち合わせスペース等のご用意はございませんのでご了承ください。



## その他

- \* やむを得ず欠席をされる場合は、下記連絡先まで事前に必ずご連絡をお願いします。
- \* 当日は、学生食堂(営業時間 11:30 ~ 13:30) 及び学生ホール、図書館をご利用いただけます。
- \* 気象警報の発令、大学または授業担当教員のやむをえない事由により授業が休講となることがあります。その際は、本学ホームページまたはメールにてご案内いたします。
- \* 詳細については、7月中旬に郵送する「受講のご案内」をご確認ください。



# 三重県立看護大学

事務局教務学生課

〒514-0116  
三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
TEL 059-233-5669、5694  
E-MAIL [kcd@mcn.ac.jp](mailto:kcd@mcn.ac.jp)

## LINE@

公式LINE@にて本学に関する最新情報をお届けしています。登録はこちら↑

